





(同文)

高橋利経蔵より

受信

二月二十四日午前九時

沖三入号

歸英後六分利并公債二二〇〇、〇〇〇 積債四正、  
 為五分利并公債二三、〇〇〇、〇〇〇 積債三正、  
 二正、〇〇〇、〇〇〇 手形利四%ヲ變フルトテ基礎トシテ  
 内談ヲ始タル処半國ハ九七%ヲ主張致又佛  
 國銀行家ハ種々好意ヲ試一方ニ於テハ我ニ不利益  
 ナル記事ヲ屢新少抄上記載有之比所釋々、  
 怪云ニ故國セエタリ乍併一國同内ニハ怪  
 雲ヲ排シ諸利ヲ進ムル見込ニ此ヲ發行ノ成功  
 ヲ期スル為則額面ト發行價格ト、間ニ打歩



餘地ヲ作ル物 銀行價格ヲ九九%トスル必要  
並成可申事 右ハ少村大使ニ於テモ同意

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



高橋副總裁

奈信

二月二十五日午後七時廿分

沖五十五号

又封ヨリ左ノ通奈信被申タリ

貴堂身三十八号領系充分由是力有之也

又中十三回由報告了了

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十







高橋劉紹載

要信

二月二十七日午前八時

一九三九年

於若歸英後友人ド・ベルヌイ之佛西ノ態度ニ付  
 大ニ憤慨ノ關係者ニ對シテ國家的ノ諒解ニ双  
 方提来ノ異見ヲ水ニ流シ今度ノ五分利付公  
 債發行ニ是非也望ノ加入スルコト以テ日佛兩  
 國將來ノ親交上緊要ト爲シ任事高尼力ニ付ル  
 結果也望イタルヨリ傷歎コトイタルドヲ經テ  
 右意嚮ヲ示シ申タルニ付於若ニ之ニ應ジ本日  
 下午後トシテ五分利付公債償還期限四十年  
 換還年限十五年ノ率リ償付九九ノ一拂込







高橋利徳殿

奉信

二月二十七日午辰一時卅分

才五十六号

改社有り左通奉電被添ナリ

貴電并三十九号領承深ク貴君ノ勞ヲ謝ス



明神宗 萬曆二十九年  
庚申年 十一月 癸卯 朔  
己未 日 庚申 年

庚申

萬曆二十九年

庚申年



高橋別紙裁入

養代

二日三十七日未四時

不字

一月十五日申申其通  
三申申越通  
正金銀の申支  
底入預置の支







高橋副總裁

友氣信

二月二十日午後五時

沖五十七号

政社より左通奉電被奉タリ

郡制廢止法案政社より衆議院ニ提出スル

意外ノ反對起リ大同俱樂部ニ政友會ト

分離セトスルノ勢カカリ貴族院ニ亦反對論盛

ナリ為テ政界ノ多少治氣ヲ生スベシ併ニ結局

ハ何トカ疏通ノ道有之見込ニ舟一寸也今此ニ申

進也







高橋副總裁より

受信

三月一日午後二時

沖田十郎

五分利付公債発行の半は文部省の外両国に  
 其金融市場の鑑に発行價格九九半にて成  
 功見込多之趣を以て今回ハ発行の仲間入ヲ制  
 旨申出たり仍テ愈傷致すは内市場に於テ極致  
 半分の発行スル事ハ定メられた中ナリ故若ハ取  
 取纏ノ為に足口をゆるドノ懸念有之を三月二日  
 已に出版三月四日採集ノ積

大行







高橋副總裁

要信

三月二日午寄

才四上子

六分利社公債二千二百萬磅償還、為英債公  
債二千三百萬磅、英米佛ニテ發行スル件ニ関シ  
拙者ハ、要旨仕状並例、依リ倫敦士債報ヲ  
徑テ呈高而會報スル所ナリ



(15)

1911年11月10日

1911年11月10日

1911年11月10日

1911年11月10日

1911年11月10日

1911年11月10日

1911年11月10日

1911年11月10日



高橋副編裁人

養信

中平八号

以社月一在通養發被原あり

光景年四号一領系手あ仕状ハ本日電信養

送中一



1911年

新加坡巴生路 140 号 德和洋行

德和洋行 代理人

德和洋行

德和洋行

德和洋行 代理人



高橋副館長

奉信

三月二十日午後七時

中五十九年) 改行より左通 奉復他第より

自衛見書等之関し山村大使經由ノ電報候  
當年委細承知 又今回ハ四月十八日教令  
中二百四十五号ニ依ルヲ得久 別ニ奉行規程ヲ作  
案ナリ故奉行条件等 教令ニ載スルヲ要スル者ハ例  
通ノ因案ヲ奉ケ可成 達ニ要報ヲ成候

日本銀行



引通好... 子... 通... 引... 通... 好...

... 引... 通... 好... 子... 通... 引... 通... 好...

... 引... 通... 好... 子... 通... 引... 通... 好...

... 引... 通... 好... 子... 通... 引... 通... 好...

... 引... 通... 好... 子... 通... 引... 通... 好...

... 引... 通... 好... 子... 通... 引... 通... 好...

... 引... 通... 好... 子... 通... 引... 通... 好...

1/5 1/2 4/11 2/3

... 引... 通... 好... 子... 通... 引... 通... 好...



高橋副総裁

手紙

三月二十日午後八時

沖野三郎

巴里引受分一千百五十万磅ニ付テハ 拂込金英  
 貨一磅ニ付ニ五法ニ五先ト取拒怪テ元金債  
 還モ同お傷ニテスル下ニ定メタリ尤モ利息付拂  
 支拂期日ニ為控お傷ニ依ル事トモリ米國ハ五分利  
 付公債所有者ノ庶務ニ便ソ與ン為改行ヲクシ  
 口レフニ命シテ莫西銀行分ニ付シテ庶務申込ヲ取  
 次シヤン下ニ協定シタリ又 拂込ハ一般ニ五分利付  
 公債 証書ヲ充用シ得々事トモリ 其充用方ハ  
 証書ニ付テ 利子ハ全ク別ニ計算スルモノトシ

日 本 銀行



單に記述、額面金額より直に現貨額と同視して之を  
 受付事トヤリ又今回五分利并公債ハ紐着ニテ之  
 利ヲ受取揚者トシ其英債ニ對スル相場ハ支拂期日  
 為據あり傷ニ由ル事トヤリ又五分利并公債償還  
 告事後ハ之を銀行の備貯支取ラシテ論事人ニ對期日  
 前割引せしム事必要ニ并右償還金ハ今後政府  
 及び日本銀行の運用資金ヲ充用スルニ必要ニ并  
 當分運用上此指路ヲ南中償還先示後代  
 理者及監理官ニ切刻令お成致又目下紐着  
 ニ於テ政府所有米貨、缺乏ナルが故米國へ回金  
 必要ヲ生シスル場合ニハ一定お場ニ依ル能ハサル事  
 ヲ亦承知お成致

日本銀行



高橋副總裁へ

彙信

三月三十一日午後六時分

才六十年

大花五臣ヨリ左ノ通電報第セリ

左ノ通神野監理官ノ傳言有之

高橋副總裁電報中四十二年ノ趣ニ依リ

金ノ準備及采石ノ回屋ノ必要有之ニ付

貴人高橋トモ談及子孫ニ傳テ

官

日本銀行







高橋副總裁

受信

三月四日

中四十三号

今度ノ公債發行ニ関シ大伴ニ付テハ資本家ト既ニ協  
 議済ニ有之共得テ細目ニ付協議未済ノ點アリ  
 未契約出來ザレバ時機切迫ニ付敎令果左ノ  
 通取調而勢報申上ル則今回ハ明以三十八年  
 利率ノ貳百四拾五子ニ左ノ如キ變更ヲナシタル敎  
 令ヲ要スル儀ト出来知下サレ度也

旧中一条ノ代ニ左ノ意味ノ規定ヲ要ス改行ハ明以三十七年  
 五月及土月係數及ヒ紐着ニ於テ發行シタル中一回  
 中二回是望云債六分利付二千二百萬磅ヲ償還スル

三月四日 長行







二十五法以下ナル範圍ニテ支拂期日ニ於ケル巴里ノ倫  
 敦為授取場ニ由テ之ヲ定メ元金償還ノ場合ニハ  
 英貨一磅ニ付佛貨二十五法ニ定ム(說明  
 二十五法二十五先トシタルハ拂込金ヲ其割合ニテ十廿ニ  
 ルニ由ル) 英貨ト米貨トノ授取率ハ元利芝其  
 期日ニ於ケル紐育ノ倫敦為授取場ニ依リ之ヲ  
 定ム 旧牙七条ノ一項ノ年月日ヲ明治四十年一  
 三月ヨリ同年八月ニ改メ又二項明治三十九年一  
 月及同年七月一トアルヲ明治四十年九月十二日ニ  
 改メ各ノ一字ヲ削リ附則明治三十八年勅令第  
 二百四十一号ニ依リ留保セラルル英貨四分利付  
 公債英貨二千五百萬磅ノ募集ヲ取消ス之ニ関  
 スル規定ハ協テ削除ス







高橋副証裁

受信

三月四日午前十一時

三月四日午後

三月四日假契約あり済可申案事情不得止英貨  
 佛貨控算率ハ拂込及之利支拂全額ヲ  
 英貨一磅ニ付二五法ニ五先ト一定セリ就テハ  
 四月三日(社令案)左ノ通ニ変更至急為案等ノ  
 用意被致成 佛也ニ付ハ三月十日 案表スル由

日 不 限 行



三、...  
 四、...  
 五、...  
 六、...  
 七、...  
 八、...  
 九、...  
 十、...

...

...

...



高橋副總裁

受信

三月四日 乙午

中四十五号

東京電信中四十五号 中五銀行係對支店  
次之 五銀行經營出張所 加



東京 東京 東京 東京 東京

大阪 大阪 大阪 大阪 大阪

神戸

1/1000000

1/1000000



巴里卷

車乘著

四十年

二月二十日 廿一、五

前六日

林外務大臣

栗池大使

才ニニシ

トウネツサンレ氏ト會合ノ際日氏ノ談話ニ  
 依レバ今回ノ日本募債問題ニ關係シ奉官  
 ト當國外務大臣ト談話ノ結果露國ハ帝  
 國政府が同國ニ對シ目下暫ク協和ノ態度  
 ニ出デクハ之レ今多佛國ノ居仲斡旋ニ基  
 クモノ最モ大ナルモノアリトナシ露國  
 外務大臣  
 アリト云ヒヨシレ氏ニ對シテ謝意ヲ表ス事  
 名由又「ヨヒヨシレ氏」今回募債一件ニ付テ  
 日佛兩國ノ交誼ニ甚トシ誠實ニ以テ盡力ス



ハト決心シテ若シ如件ニ兵ヲ奉官ノ帝位  
スレトモ有ラバ腹我ナク之ヲ同大臣ニ陳述  
スル奉官ノ儀方トドラネワサレ氏ノ依  
頼ニ由且曰氏ノ話ニ依レバトビシヨシ氏  
ハ露國ニ對スル帝國政府目下ノ態度  
頗ル満足シタル様子ナリ

テ西國名存ナクハ極大ニ驚愕シテ  
テ西國名存ナクハ極大ニ驚愕シテ  
テ西國名存ナクハ極大ニ驚愕シテ

テ西國名存ナクハ極大ニ驚愕シテ

テ西國名存ナクハ極大ニ驚愕シテ



高橋到館哉

夏信

三月五日午後二時

沖田中

佛心奉行、三月四日、  
假契約、調停、佛心大元、大臣、  
致稿、都合能運、同夜、帰美、  
本政村、佛心政村、好意、  
上三、申入、様、案、  
本館

月大長行







高橋副總裁

受任

三月六日午前十時

中四十七号

勅令案英文及年月日条末文 (through underwrites  
 nominated by government) 数字削除达成  
 是ハ先年ノ说明セ、通事実トモ違、心ニシハ不  
 都合ナリ、非削去ヲ要ス、又委任状ニ特派  
 財務委員、邊松記載、且中四項大使ノ署名  
 在、(engraved signature) 改事必要ニモ



Handwritten text at the top of the page, possibly a title or header.

Handwritten text on the left side of the page.

Handwritten text in the middle section of the page.

Handwritten text on the right side of the page.

Main body of handwritten text, appearing to be a list or series of entries.

Handwritten text at the bottom of the page.



高橋副總裁

要候

三月六日午前十一時

沖四十八年

佛英芝假條約調停済是迄電報也者ノ外

明以辛酉年十一月條約ト大差ナシ本月九日

二目端見書表奏表致成由奏行銀行ヨリ申出致

就テハ直ニ本月十日條約大使報ヲ程テ電報也

六分利付公債償還ニ關スル大花者告示奏

表古成奏又當方ハ八折返右告示月日乃番

号要報古成也且社令ニ年月ヲ書キ至急也電報

古成致







高橋副總裁より

要領

三月六日午後五時

中四十九号

(鷹房者ミテウカ分利付公債)

英心ニテ發行ス五分利付公債ヲ以テ拂込金ニ當リ  
 スル者ニハ亦多利付公債額面金高ト五分利付公  
 債發行價格ノ差金十志ノ外ニ現金月賦拂  
 鷹房者ノ利子計算上得利益ト同一ナル利益  
 ノ變ル為計算上生ズ一磅合計一磅十志ノ  
 現金ヲ變其六分利付公債ニ附屬セル東四月五  
 日派利札ハ鷹房者ノ年許ニ殘置十月五日派  
 利札以下ヲ附シタル儘其公債ヲ上納セシメ  
 危險ヲ辭スル為發行銀行ハ直ニ之ヲ打後

日本銀行



日本銀行 倫敦代理店 引換事 定より就  
 鷹勇割當 時押込 現金少 上キ 政府より充  
 行銀行 入其 手形料 四% 右一 磅十 志押  
 要ス 現金 政府より 充行 銀行 一 別 換事  
 上セリ 而是 改訂 運用 資金 了 押出 事 上  
 中央 知 奉 轉 送

大正十一年 日本銀行 總行 向 路 十 号 支 店 公  
 積 金 二 萬 五 千 圓 支 店 積 金 一 萬 五 千 圓 共 計 四 萬 圓  
 支 店 積 金 一 萬 五 千 圓 ( 支 店 積 金 一 萬 五 千 圓 )

支店

1/2010 年 末 結 算 日

東京 總 行 支 店



蔡信

四十年三月五日

高橋正徳

方方十一号

此封子左一由亮電上京了

貴電亦四十六号領承申紙一併早連

室跡古供一重智以五九



for the first time

the first time I saw you

the first time I saw you

the first time

the first time

the first time I saw you



高橋副總裁、

奏候

三月六日午後四時卅分

中六十二号

改封ヨリ左ノ通奏電御座タリ

貴電中四十七号中四十八号願系教令ハ今朝教裁

済教后原文才ニ条引受人ヲ定メテ引受奏行

セシトアルハ奏行ヲ請合シルノ意味ニテ下受ノ意

味ニ非ズ故ニ事實ニお違スル所ニ是ニ若英文不通

當ナレバ英文ノ方ハ適宜ニ依ル所成成

教令ハ三月八日奏布ノ管書号ハ追テ電報ノ儘

告示ハ三月七日奏表書号ハ大宛者先示中三十九号

ナリ



特派財務委員、資格記載及大使署名印  
刻、件系知夫、夫、村大使、電報也

昭和十六年八月、東京、東京、東京

昭和十六年八月、東京、東京、東京

昭和十六年八月、東京、東京、東京

昭和十六年八月、東京、東京、東京

昭和十六年八月、東京、東京、東京

昭和十六年八月、東京、東京、東京

昭和十六年八月、東京、東京、東京

昭和十六年八月、東京、東京、東京

昭和十六年八月、東京、東京、東京

昭和十六年八月、東京、東京、東京



高橋副紹義

桑信

三月廿六日午後五時

乙号

教令書号(八号二十三号)三月八日桑市尚少村大使  
より世下一通達一紙



一、六、(四) 附、款

二、六、(四) 附、款  
三、六、(四) 附、款

四、六、(四) 附、款

五、六、(四) 附、款

六、六、(四) 附、款



高橋副總裁

奏信

三月七日午後八時

中字三号

大藏大臣より左、通電報原七号

中野中四号、運用全号、信置告不倍六

分利廿公債割引、件来意、通電原七号







高橋劉銘哉

長谷

三月廿五日

如号

傷教ヨリ紐着、回金、二、三、ハ、今、後、紐着、仕、掛  
之、準備、都合、ニ、依リ、一、張、二、冊、四、冊、ハ、七、一、定  
取、場、以、内、ノ、取、場、ニ、テ、回、金、方、系、認、リ、タリ







高橋副總裁

森信

三月廿五日

六月廿四日

改行月一左通 森愛社原

貴電才四五年 願承 右署村 三升 夫

訓 堂



11/2 10/24 10/24 10/24

11/2 10/24 10/24 10/24  
11/2 10/24 10/24 10/24  
11/2 10/24 10/24 10/24

11/2 10/24 10/24 10/24

11/2 10/24 10/24 10/24



高橋副貳藏

要候

三月八日午時

万五千

来ん十日目得見書表、筑ノ如様上テ来ん八日  
夕刻トナリタリ、西商然丁五分利付公債發行價  
格九七、ニテ我公債ヨリ先ニ發行せしトシタルカ  
佛心、我公債ヲ先ニ事、定メタルハ事ト  
好ク條約書ハ今日ノカナダ便ニテ御送

日本銀行







高橋副總裁

受領

三月九日午前九時

沖正(多)

倫敦銀行より政府の押込期日及金高現  
金勘定トシテハ左通也七六分利付公債の買受入  
高ニ付現金高ハ受取トシテ案知ル成也

割當日より十四日程度

一八四〇、〇〇〇 磅

五月十三日

二、三〇〇、〇〇〇

六月十一日

二、三〇〇、〇〇〇

七月四日

二、三〇〇、〇〇〇

八月十二日

二、二四六、五〇〇

合計

一〇、九八二、五〇〇

三、五、三



巴里義行者ヨリ改行ニ拂込期日及金高在通法

割當ヨリ南ヨリ法

五月十日 五八、〇七五〇〇〇法

六月十一日 五八、〇七五〇〇〇

七月四日 五八、〇七五〇〇〇

八月十二日 五八、〇七五〇〇〇

合計 二七七、三〇八、一三五

但牙一回拂込金ヨリ佛心印我脱ヲ支拂事トシ案知  
本所及押込金要取手續ハ前同同様ニ并前例  
由リ栗野大使一而割令本所及尤モ拂込期  
日及金高ハ案方ヨリ栗野大使一通割可致ス

巴里義行者



高橋副總裁

奏信

三月九日午後

て号

此はノ借換ハ如常ノ難事ナリシニモ拘ラズ  
 他ノ先ヅ完全ナル成功ヲ見ルニ至シハ實ニ貴  
 君ノ苦心而尽力ノ結果ト深ク國家ノ為メニ  
 慶賀ノ心ト共ニ貴君ノ方ヲ深謝ス  
 井上伯也大ニ安心セラシメ國家ノ為メ慶賀セラシマリ



在 1945 年 11 月 15 日 1945 年 11 月 15 日  
1945 年 11 月 15 日 1945 年 11 月 15 日

1945 年 11 月 15 日 1945 年 11 月 15 日

1945 年 11 月 15 日 1945 年 11 月 15 日

1945 年 11 月 15 日 1945 年 11 月 15 日

1945

1945

1945 年 11 月 15 日

1945 年 11 月 15 日



高橋副總裁

受信

三月十日午前七時

在号

貴電にて号感謝之由相察通今回ハ其難産は  
 市場操縦等、為正屋銀行、係数亦亦其時  
 手取お掛、其、并此際日本銀行、協裁、有、正屋  
 銀行、取、取、程、其、人、之、謝、礼、お、成、可、也、ト、お、成、  
 亦、同、意、ナ、ラ、バ、代、理、店、専、任、内、外、人、十、九、人、ト、別  
 支、配、人、其、他、一、謝、金、ト、シ、テ、合、計、七、千、四、百、磅、  
 始、者、ハ、電、信、送、金、被、成、下、也、且、此、事、為、高、山  
 川、ハ、中、途、被、成、也、







高橋副總裁

要旨

三月二十日

中五十二号

今度、應募票気が従前と違申込後ナリ  
 締切期限の高月十四日ナリトモ其前締切事ナレ  
 成具込十一日夕刻迄申込高七、之二二、のり磅  
 併込ハ應募済トナリタリ其高未多確トモ分り  
 今中、我今回取消せん四分利付公債二千五百万磅  
 証券ハ既ニ半製出トモ取付ナリ付此際印刷分  
 社、対シ注文ヲ取付右費用決算ヲナリ半製  
 証券ハ総領事監理官監務役等立合印刷分  
 社、備ナリ様紙、焼捨事最モ安全トモ存ナリ且







高橋副冠裁

奏信

三月十七日午後一時

次六字五字

以計り左ノ通奏電被届たり

御座之条未便ニ如何ニ翻譯セラレタリヤ老考

為軍ヲ置成又為幕屋使ル必次第至

為要報者云云

历



明 治 十 年 十 月 廿 九 日

一 號 函 件 之 開 封 以 及 其 他 諸 事 均 已 辦 理 完 畢

茲 將 其 中 之 要 點 列 後 以 便 查 考

一 函 件 之 開 封 及 其 他 諸 事 均 已 辦 理 完 畢

茲 將 其 中 之 要 點 列 後

一 號 函 件 之 開 封

茲 將 其 中 之 要 點 列 後

一 號 函 件 之 開 封



高橋副編裁へ

茶信

三月十三日午後一時

安号

貴電吉号了后手委細業知七千四百磅電  
信送厚より可也而取中お成度



金 圓 一 千 一 百 圓

支 出 金 圓 一 千 一 百 圓

計 入

明 治 三 十 四 年 一 月 三 十 日

支 出

支 出 金 圓 一 千 一 百 圓



高橋列流文、

共収候

三月十日迄五付

申方十六号

大元大匠より左ノ通電抜候存候

美債五分利付公債拂込在英取手候、件

左ノ通在佛國全權大使、刻迄致置候、

在佛國特命全權大使今般農行、美債

五分利付公債此千五百萬兩、内四百五十

引、更高等千五百萬兩、内四百五十

去、刻迄日、十割、純、四、千、百、四、十、五、

法、五、月、十、三、百、五、千、八、百、七、十、五、

千、百、七、十、五、千、法、七、月、四、百、五、十、八、

百、七、十、五、千、法、五、月、十、三、百、五、

白木限行



八月十二日五千六百萬五拾五萬九千五百五拾五法  
合計此債七千七百八拾八千五百五拾五法  
刻念ヲ以テ拂込一キニ付（但チ一回拂込左  
リ佛國印祝シ仕拂モトス）該拂込全支取手  
續ハ前圓四十分利付公債ノ例ニ依リ石斗市成  
交右刻念ス

前圓月々

大正十一年一月一日

大正十一年一月一日

大正十一年一月一日

大正十一年一月一日

大正十一年一月一日

大正十一年一月一日



高橋劉信文、

貴債

三月十日午後五時

第六十七号

政府より左通電文後仰より

貴電第四十九号欲事者、右記事項に依り  
 差支無之様を計り成交才一拂込り其れ現在  
 以て貴行銀行に交付之り手数形及証書  
 以て拂込、當りたる者、拂後之要る一磅  
 十志、仕拂、不足之生る時、右補充為  
 必要額之回来、寄託金より拂出し銀行  
 行に交付スル、才二右補充金、政府基金  
 拂出切トスル時、暫く上差支アル、付回来



寄託金運用勘定トシテ整理致置ク一事  
 事中之發行銀行ハ政府ノ手取金相當金  
 額及カ一項補充金相當額（証券ノ以テ）  
 政府、納付スルノ事ト右納入金ノ内手取金相  
 當額ハ手取金トシテ整理致置金寄託金勘定  
 ニ記入証券ハ整理致置金運用勘定ニ移ス  
 丁卯五才三項補充金相當額ハ才二項運用  
 勘定所屬ノモノトシテ取扱フ一事

整理致置金運用勘定  
 手取金

整理致置金運用勘定  
 補充金

整理致置金運用勘定  
 補充金



高橋副紹哉、

奏儀

三月十二日午後十時分

沖方八年

吉元大臣より左ノ通會報原也云

實費年五十年ノ領事半製弘房及原股處分

方ハ仰見ハ通商斗成成

務領事ノ及監理官ハ訓令ヲ置タリ

日本銀行



行銀機一長 聯發 函 ( 望 派 票 同 日 )

物：第一 四 四 一 一 四 四 四 一 地 區 收

聯 發 本 行 財 政 部 函 號 財 政 部 財 政 部 財 政 部

財 政 部 財 政 部 財 政 部 財 政 部

財 政 部

三 月 十 日 廿 四 日 廿 五 日

聯 發

聯 發 函 號 財 政 部



高利貸文、

高利貸

三月十二日

子、号

明治三十八年八月十七日付理財長宛  
 二回四分半利付英債公債利子計算月数  
 〇期元費候、趣旨ニ據ルハ今面債還セ  
 ラルヘキ六分利付英債公債ニ對スル端數利  
 子ハ四月六日ヨリ九月十日ヨリ日刻シ以テ仕掛  
 フヘキモ、如シ若解符ニテモ支ナキヤ否モ  
 信ニテ返事アリ

日本銀行



1891年10月

1. 10月1日 赴江州 乘船 沿途 风景 甚佳  
 2. 10月2日 抵江州 住宿 某处 环境 幽雅  
 3. 10月3日 游览 某山 景色 壮丽 令人 叹为 观止  
 4. 10月4日 乘船 返回 某处 沿途 风景 依然 如画  
 5. 10月5日 抵某处 住宿 某处 环境 幽雅  
 6. 10月6日 游览 某山 景色 壮丽 令人 叹为 观止  
 7. 10月7日 乘船 返回 某处 沿途 风景 依然 如画  
 8. 10月8日 抵某处 住宿 某处 环境 幽雅  
 9. 10月9日 游览 某山 景色 壮丽 令人 叹为 观止  
 10. 10月10日 乘船 返回 某处 沿途 风景 依然 如画  
 11. 10月11日 抵某处 住宿 某处 环境 幽雅  
 12. 10月12日 游览 某山 景色 壮丽 令人 叹为 观止  
 13. 10月13日 乘船 返回 某处 沿途 风景 依然 如画  
 14. 10月14日 抵某处 住宿 某处 环境 幽雅  
 15. 10月15日 游览 某山 景色 壮丽 令人 叹为 观止  
 16. 10月16日 乘船 返回 某处 沿途 风景 依然 如画  
 17. 10月17日 抵某处 住宿 某处 环境 幽雅  
 18. 10月18日 游览 某山 景色 壮丽 令人 叹为 观止  
 19. 10月19日 乘船 返回 某处 沿途 风景 依然 如画  
 20. 10月20日 抵某处 住宿 某处 环境 幽雅

1891年

10月

1891年

1891年 10月 1日 赴江州 乘船 沿途 风景 甚佳



Handwritten text on the left edge of the slip, possibly a date or reference number.

Handwritten text in the middle of the slip, appearing to be a name or title.

Handwritten text on the right edge of the slip, possibly a location or classification.





好時心無自忘得

吾慶於後何事而日

倫教日不子下此亦亦

既之自何國當有之

其付不其院  
其部其

三月十日

改其文就其目

好是月不其其其



Handwritten text on a vertical strip of paper, possibly a label or a note, written in a cursive script.

Handwritten text on a vertical strip of paper, possibly a label or a note, written in a cursive script.

ロンドン、エント、サニ電報 (三月十三日倫敦)  
揚子共ハ六分利英債公債借換整理ノ為發行セ  
ラレタル五分利英債公債二千三百万磅ノ發行ハ  
非常ニ成功ナリレストナリ下ニ



ロンドン、エドモントンの電報（三月十日、倫敦發）  
拙者共ハ六分利英債公債借換整理ノ為發行セ  
ラシタル五分利英債公債二千三百萬磅ノ發行ハ  
非常ニ成功ナリレストラ閣下ニ此報知スルコトヲ幸  
榮トス此成功ハ特リ倫敦市場ニ於ケル半額ニ付  
テノミナラス亦實ニ巴里市場、為ニ分ラタル  
閣下ノ速實ナル

ロンドン一家

大藏大臣宛



ロンドン、エントド、サン電報（三月十三日、倫敦發）  
拙者共ハ六分利英債公債借換整理ノ為發行セ  
ラレタル五分利英債公債二千三百万磅ノ發行ハ  
非常ニ成功ナリレドモ閣下ニハ報知スルコトヲ幸  
榮トス此成功ハ特リ倫敦市場ニ於ケル半額ニ付  
テノミナラス亦實ニ巴里市場、為ニ分レタル  
半額ニ付テモ同様ナリ  
此結果ハ今日ノ情勢ニ對シ尚一層成功ト云ヒ  
得ヘシ何トナレハ西米利加、巴里及倫敦ニ於テ  
銀行利子ハ五分ヲ保テ金利頗ル高シ且  
株式市場ハヨシニ沈靜ナラストシテモ頗ル  
不活潑ナレハナリ  
此財政上ノ成功ハ固ヨリ日本、今日ノ信用

甚ク厚キニ基因スルハ勿論ナレトモ又同時  
ニ閣下ノ財政代理人カ各場合ニ揮ヒタル  
力量并ニ技術モ亦大ニ與テ力アリト云ハ  
サレリ得ル殊ニ今日ノ如ク種々困難  
甚シク際ニ對シテ尚然リト云フヘシ  
依テ拙者共ハ閣下并賢明ナル閣僚諸公ニ  
祝喜ヲ表ス

閣下ノ速實ナル

ロンドン、エントド一家

大藏大臣宛



大板九口坎

第一圖... 第二圖... 第三圖... 第四圖... 第五圖... 第六圖... 第七圖... 第八圖... 第九圖... 第十圖...

第十一圖... 第十二圖... 第十三圖... 第十四圖... 第十五圖... 第十六圖... 第十七圖... 第十八圖... 第十九圖... 第二十圖...

第二十一圖... 第二十二圖... 第二十三圖... 第二十四圖... 第二十五圖... 第二十六圖... 第二十七圖... 第二十八圖... 第二十九圖... 第三十圖...







高橋副總裁へ

奏信

三月十三日午後一時

おこ号

保田孫蔵より左通電報依頼あり

借控公債の事也而片力に依り飛舟共二舟大

南陽外航運分社債發行の處に政府より

申請可有之べし就ては生に四月初横濱より出帆

仕り先ツシツブ氏ト打合ヲナシ然レモ英園ニ至リ

可申穂、者云々

日本銀行







高橋利録載り

要信

三月十三日午後三時

沖五十三号

貴電沖五十五号 読取 最初ヨリ 三月午後四時止  
 申込為一〇八四一ヨリ 債内 現金 鷹ヶ島者  
 五七二三ヨリ 債 六分利 申込 所有者 鷹ヶ島 高  
 五二八ヨリ 債 而改 界上 現金 申込 十二日 晩ニテ  
 締切 六分利 申込 債 所有者 申込 十三日 午後四時  
 締切 旨 廣告 セリ 尤も 夫レ 点ニ 多少 超過 スル 見  
 込ナリ 昨秋 以来 金高 多ク 発行 三ニテ 最上ノ 出  
 来ト 申込 今回ノ 日 申込 債 ナリト ス 是ニテ 如何ニ 歐  
 米 市場ノ 状態ガ 前年ト 變リ タルヤ 推察 せ 成







高橋副總裁ヨリ

受信

三月十三日午後三時五分

水号

貴電之号而解釋、通日割



銀 兩 八 兩 五 錢 分 一 厘 四 毫

共 銀

四 百 兩

川 西 土 產 雜 貨

德 興 號 謹 啟



三月十四日 副總裁より受信

よ号

當地がハ日本公債大成功ト云フ評判ニテ吾ハ  
市中往來スルニモ自カラ肩ノ廣キ感アリ内地形  
聞ハ之ニ及対ナラン







副送才

文候

三月十日

第五高号

昨日、締切後先切替アリテ十三日午後四時  
迄申込現在在六百奉札五万五千疋公債取  
引高六百ハ札五万五千疋計千奉取高札或  
五万五千疋高電投未高分り本口高代  
諸新聞ハ日本公債發行ハ大困難ナル  
時節、立派な成切リ見たりトテ大に不安  
懐歎歎







高橋利純載り

受信

三月十四日午前十時

加字

此電は、号為手添田招致（市債）の發行  
現今金融狀態は、米穀市場に債發行  
具は、急之故に其信ニテ、ト打合、肝要ナリ  
右市先考、近申、此及、小生、四月、七日、横濱、署  
ノ豫定

一ノ







高橋副總裁

及森信

三月十四日午後五時

申号

貴君市歸朝ノ事ハ政府ニ於テ大體異議無之様  
 様ナリモ貴君ノ市出衆期ハ財政代理官並ニ保  
 田福蔵ノ出衆ト關係有之且一鷹井上伯ト  
 打合ヲ要スル事情モ有之故政府ノ返電ハ追テ  
 奏セラルコト、考テ市合マシ







高橋副将載

奏信

永享九年

三月十四日午後五時

改封有り左通奏電原セヨリ

公使幕集締切ニ因テ貴電後手今回ハ殊ニ非常  
 ノ中困難ニテ直ニ感謝ノ意ニ不堪 拙者ハ大花  
 大臣)直ニ先内委細ノ情況ヲ奏上ニタリ頗ル  
 御満悦ニシ僥倖ナシ御誤アリタリ至金銀り安其  
 他ノ危カ者ニ対シテ可然傳言者ニ任 少村案  
 即本野 三氏ニ対シテハ拙者ヨリ謝電ヲ奏シタリ  
 大傳報負及領事館負ニ対シテハ拙者ヲ代表  
 シテ可然謝意ヲ述ベル様神野武池友一傳言  
 者成及中京帰朝ノ事ニ付テハ 拙刻返電

日本長丁



